

産業能率大学 経営学部

ビジネス実務法務	履修年次	2	
	単位	2	
木内 清章	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>本講座は全くの初学者を対象とするので、まず第1-10回までの講義(中間整理1回を含む)で全体を学び、さらに11-14回で反復することで、理解の定着を図る。そのため、各回の講義と授業外学習の連動性は高く、確実な課題履修が必須となる。法律科目の修得は、何回も繰り返すことで、次第に整理と区別がつくようになり、自身の頭の中に体系が出来てくるものである。よって、螺旋的に理解が深まっていくように講義を進めていく。</p> <p>法律はある意味で、誰もが有する常識感に基づき理解される要素も多く、また必ずしも暗記に依存するものではない。学習を重ねていく過程で、知的な達成感が高まっていくであろう。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ビジネス実務法務検定試験3級」に合格するための基礎力を身に付けることができる。</li> <li>・ ビジネスにおいて必要とされる民法・会社法その他の基礎知識を学習し、将来企業において必要とされる法務知識への土台をつくること</li> <li>・ 法の種類と多様な側面を概観し、みずから関心をもつ分野を発見することができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>授業出席・授業外学習・小テスト・課題提出により、総合的に評価する。</p> <p>なお、受講者間の公平を期すため、授業外学習の課題提出が遅延した場合は減点対象とする。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション ビジネス実務法務の法体系	8	債権の管理と回収(1) 担保保全の体系
2	取引を行なう主体(1) 民法分野	9	債権の管理と回収(2) 強制執行企業活動に関する法規制
3	取引を行なう主体(2) 民法・会社法分野	10	法人と従業員の関係 ビジネスに関連する家族法
4	法人取引の法務(1) 契約	11	総合確認①
5	法人取引の法務(2) 手形小切手法分野	12	総合確認②
6	中間整理	13	総合確認③
7	法人財産の管理と法律	14	総合確認④